

サイファイ研究所 ISHE 主催

<http://science-he.blogspot.jp/>

第2回 ベルクソン・カフェ

<2回シリーズ>

Pierre Hadot

« Apprendre à vivre »

「生きることを学ぶ」

講師：矢倉英隆

(サイファイ研究所 ISHE & フランソワ・ラブレール大学)

日時：① 2017年10月14日(土) 16:00~19:00
② 2017年10月21日(土) 16:00~19:00
(1回だけの参加でも問題ありません)

会場：恵比寿カルフル B 会議室

東京都渋谷区恵比寿4丁目4-6-1 恵比寿MFビル地下1F



参加費 (1回分)

一般：1,500円、学生：500円
飲み物(コーヒー/紅茶)が付きます

会終了後、懇親会を予定しております

参加を希望される方は、she.yakura@gmail.com までお知らせください

講師の紹介と挨拶



講師： 矢倉 英隆

HP： フランスの哲学的生活 (<http://hidetakayakura.blogspot.com/>)

-
- 2007年、フランス国民教育省認定フランス語資格（DALF-C2）取得
 - 2007年、東京都医学研究機構（現東京都医学総合研究所）で免疫学の研究生活を終える
 - 2007年～2015年、パリ大学大学院で科学と医学の哲学を学ぶ
 - 2011年、科学から人間を考える試みとして[サイファイ・カフェSHE](#)を始める
 - 2012年、雑誌「医学のあゆみ」にエッセイ『[パリから見えるこの世界](#)』の連載を始める
 - 2013年、[サイファイ研究所ISHE](#)を設立
 - 2014年、生き方としての哲学を語り合う[カフェフィロPAWL](#)を始める
 - 2016年3月、新たに[サイファイ・カフェSHE 札幌](#)を始める
 - 2016年9月、フランソワ・ラブレール大学で科学と医学の哲学研究を始める
 - 2017年6-7月、科学者が科学を文化にする[サイファイ・フォーラムFPSS](#)とフランス語のテキストを読み哲学する[ベルクソン・カフェ](#)を始める
 - 2017年9月、パリにおいて [Sci-Phi Café à Paris \(パリカフェ\)](#) を始める
-

本年6月にフランス語のテキストを読み、哲学するベルクソン・カフェを始めました。初回は20世紀フランスの古代哲学研究者ピエール・アドーの《La philosophie comme manière de vivre》「生き方としての哲学」を取り上げましたが、今回もアドーのテキストを読むことに致しました。やはり *Exercices spirituels et philosophie antique* (Albin Michel, 2002)にあるエッセイ *Exercices spirituels* 「魂の鍛錬」の中の一章《Apprendre à vivre》「生きることを学ぶ」(pp.19-38)で、今回も2回に亘って読む予定です。前回、2時間では短すぎるように感じましたので、今回は3時間に致しました。

議論は日本語で行いますのでフランス語の知識は参加の必須条件ではありません。参加予定者には原文をあらかじめお送りし、それを共に読みながら生きることの意味について考えたいと思います。意見交換が懇親会においても継続されることを願っております。フランス語で哲学すること、あるいはこのテーマに興味をお持ちの方の参加をお待ちしております。ベルクソン・カフェの活動にご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。